

令和5事業年度

決 算 報 告 書

第 20 期

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日

国立大学法人徳島大学

令和5年度決算報告書

国立大学法人徳島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,010	12,310	300	(注1)
施設整備費補助金	1,661	1,549	△ 111	(注2)
設備整備費補助金	—	—	—	
補助金等収入	2,172	3,010	838	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	—	—	—	
自己収入	32,039	33,208	1,169	
授業料、入学金及び検定料収入	3,947	4,041	94	(注4)
附属病院収入	27,822	28,861	1,039	(注5)
雑収入	270	306	36	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,686	5,136	450	(注6)
引当金取崩	—	206	206	
長期借入金収入	667	493	△ 174	
目的積立金取崩	260	407	147	
引当特定資産取崩	940	395	△ 545	
計	54,435	56,714	2,278	
支出				
業務費	43,765	43,148	△ 617	
教育研究経費	16,067	15,643	△ 424	(注7)
診療経費	27,698	27,505	△ 193	(注8)
施設整備費	2,328	2,042	△ 286	(注9)
補助金等	1,907	2,589	681	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,686	4,638	△ 48	
長期借入金償還金	1,749	1,745	△ 4	
計	54,435	54,162	△ 273	
収入-支出	—	2,552	2,552	

※ 各項目について単位未満で四捨五入を行っているため、計及び差額が一致しない場合があります。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、教育・研究基盤維持経費が追加交付されたこと等により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部の事業が遅延したため、翌年度に繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、一部の事業が前年度から繰越となったこと等により、予算額に比して決算額が多額となっています。なお、補助金等収入には授業料等減免費交付金が251百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者の増加や免除申請者の減少等により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増加や外来化学療法件数の増加等に伴う診療単価の増により、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、人件費の執行が当初の見込を下回ったことや減価償却引当特定資産に繰入したこと等により予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注8) 診療経費については、減価償却引当特定資産に繰入したこと等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由や長期借入金に入札減等による不用額が発生したこと等により、予算額に比して決算額が少額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が多額となっています。

○収入支出の差額について

決算額における収入支出の差額2,552百万円については、668百万円が補助金等収入及び産学連携等研究収入や寄附金収入等の翌年度への繰越額、314百万円が承継職員に係る退職手当等の翌年度への繰越額、295百万円が病院の承継外職員に係る退職手当及び賞与引当金の繰入額、1,275百万円が減価償却引当特定資産の繰入額となっております。